

アル・アクサ洪水第757日目：イスラエル軍が南レバノン・ハーン・ユーニスを攻撃、ヒズボラが政府の対応を要求

Palestine Chronicle, 2025年10月30日、脇浜義明訳



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: social media, via QNN)

主要事項

＊戦争終結と人道支援物資ガザ搬入を目指した停戦協定にもかかわらず、イスラエルはガザ回廊空爆を再開し、女性と子どもを含む100人以上のパレスチナ人を殺害した。

＊ガザ政府メディア・オフィスは、イスラエルの攻撃でジャーナリストのモハンメド・アル・ムニラウィが死亡したと述べた。これでこの戦争で殺害されたジャーナリストの数は256人となった。

＊ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者68,527人、負傷者170,395人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月31日 12:15am

＊パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、西岸地区ラマッラー近くの町シルワドで、14歳のパレスチナ人小年がイスラエル軍の銃撃で死亡した。

＊パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス東の町バニ・スハイラへのイスラエル軍の空爆でパレスチナ人2人が負傷した。

＊チャンネル12：イスラエル軍高官はチャンネル12に対し、ガザのイスラエル支配地域には武装戦闘員が地下に潜伏しているので、「徹底的な組織的掃討作戦を行っている」と述べた。

*ワシントンポスト：米務省監察官の最近の報告書は、イスラエル軍がガザで数百件の停戦違反行為を行ったように思えると指摘している。監察官はイスラエルの報告に疑問を呈し、ハマスやその他の武装グループが援助物資を盗んでいるというイスラエルの主張が本当かどうか証拠を収集していると言った。この報告書が作成されたのは停戦合意の数日前だった。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍機がハーン・ユーニス東の町アバサン・アル・カビーラとバニ・スハイラを爆撃したと報じた。

*パレスチナ・クロニクル：イタリア日刊紙『イル・ファット・クォティディアーノ』（日々の実）のステファニア・マウリツィ記者の調査によると、イタリアの防衛産業企業のレオナルド社の電子機器部門は、ガザ・ジェノサイドのピーク時であった2024年と2025年にも、イスラエルのF-15戦闘機の部品を提供し続けていた。

10月30日 10:03pm

*AFP通信：トルコのエルドアン大統領は、ドイツのメルツ首相の親イスラエル発言に異議を唱え、彼にイスラエルがガザで数千人の罪のない人々を殺害し、ジェノサイドと飢餓作戦を続けていることを思い起こせと指摘した。アンカラで行われた共同記者会見で、エルドアン大統領は、イスラエルに圧力をかけ、虐殺と飢餓を終わらせる即時行動を呼びかけた。

*ハアレツ：米国は、いわゆる「イエローライン」付近で人道支援物資を配布するというイスラエル治安機関の提案を拒否した。

*イスラエル・メディア：ヒズボラが最近軍事力を強化しているという情報機関の報告を受けて、今夜、ネタニヤフ首相はレバノン情勢に関する安全保障協議を開く。

*ハマス声明：ハマスは、イスラエルが1,300戸の入植者住宅の建設を承認した翌日に、さらに1,973戸の新たな入植者住宅建設を承認したことを非難し、それをユダヤ化と入植政策の危険なエスカレーションだと言った。この入植拡大は、西岸地区を分断し、エルサレムを孤立化させ、国際法と国連決議に違反して、西岸地区併合を既成事実化するものだと非難した。

*イスラエル外相：ギデオン・サール外相は、レバノン担当の国連特別調整官に、イスラエルは中東のアラブ諸国と国交正常化を拡大する意向であると伝え、ヒズボラの再建と軍事力増強はイスラエルの安全保障とレバノンの安定にとって脅威だと述べた。

10月30日 8:11pm

*パレスチナ・クロニクル：モンドワイズ¹の伝えるところによると、ハマスは、イスラエルが資金と武器を与えたガザのギャング団に対して、これまでで最大の治安作戦を行う予定で、停戦下の緊張が続いている。

10月30日 8:10pm

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラの特派員によると、イスラエル軍機がガザ地区南部、カーン・ユーニス東部のアバサン・アルカビラとバニ・スハイラの両町を空爆した。

*アクシオス：イスラエルのジャーナリストのバラク・ラヴィドが米国高官の話として報じたところによると、米国は、イスラエルの反対にもかかわらず、ガザに派遣する国際部隊にトルコも含めるつもりである。この計画は最終段階に入っており、数週間以内にイスラエルとアラブ諸国に提示される。イスラエル当局は国際部隊に関して統制力が持てないことを恐れていると伝えられる。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、西岸地区ナブルスの東のベイト・フリクヘイスラエル軍が侵攻し、パレスチナ人若者たちが抵抗し、衝突が発生したと報じた。

10月30日 7:57pm

*パレスチナ・クロニクル：英国のムスリムの政治評論家でジャーナリストのサミ・ハムディの家族は、米国の移民税関捜査局によるサミ・ハムディの逮捕は「政治的動機による恫喝行為」であると非難し、即時釈放を求めた。

10月30日 7:47pm

訳注1：主に進歩的なユダヤ人の視点から、中東におけるアメリカの外交政策を取り上げることに専念したニュース・ウェブサイト。

訳注2：週末にイスラエル批判の講演ツアーをしていたところを、米国移民税関捜査局に身柄拘束され、ビザも取り消された。

*パレスチナ・クロニクル：アラブ首長国連邦は、自らを紛争調停者でいわゆる「イスラム過激派」の反対者と宣伝しているが、実際にはガザやスーダンの虐殺に参与している。この二つの点を結ぶとアラブ首長国連邦政権の過激な目標³が見えてくる。 [ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。

*レバノン保健省：レバノン保健省は、イスラエル軍によるレバノン南部シェバア地区への攻撃で3人が負傷したと発表した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・カッツ国防大臣は「これで終わりではない。イスラエル本土にミサイル攻撃したフーシ派は高い代償を払うことになるだろう」と言った。

*ネタニヤフ首相府：ネタニヤフ首相は、国際部隊がハマスの武装解除に失敗したら、イスラエルがハマスの武装解除を行い、ガザを非武装地帯にすると宣言した。ハマスが停戦違反を続けるなら、「非常に大きな打撃を受けるだろう」と言った。

10月30日 6:02pm

*パレスチナ・クロニクル：インターネット・メディアの『ザ・インターセプト』によると、ネタニヤフ首相が火曜日にガザへの「大規模攻撃」を命じたことで、米政府はネタニヤフに停戦違反の責任を取らせるかどうかについて疑問が生じている。

10月30日 5:58pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団はイスラエル人人質2人の遺体を赤十字に引き渡したが、イスラエルの停戦違反が続けば今後の遺体捜索・回収活動が妨げられると警告した。

*ICRC（赤十字国際委員会）：ICRCがガザでイスラエル人人質2人の遺体を受け取り、それをガザ駐留のイスラエル軍に引き渡したことを、イスラエル軍は確認した。

10月30日 5:26pm

*パレスチナ・クロニクル：ワシントンポストの報道によれば、2年前のガザ・ジェノサイド開始以降、イスラエルは、西岸地区の町や都市に1000近くの新たな分離壁を設置した。ワシントンポストは、パレスチナ自治政府の機関である分離壁と入植地への抵抗委員会が、2023年10月以降イスラエルは「916のゲート、障壁、分離壁を設置した」と述べたことを報道した。それと同時に、パレスチナ側の統計では、イスラエル軍の襲撃で1000人以上のパレスチナ人が殺害された。

10月30日 4:55pm

*アル・ジャジーラ：ガザ市にあるアッシファ病院の透析部門で基礎的医薬品と医療物資が不足し、腎臓病患者の命が危険にさらされている。

*アル・カッサム旅団：旅団は、人質2人の遺体を地元時間午後4時に引き渡すと発表した。

*イスラエル・メディア：超正統派ユダヤ教徒（ハレディム）の大規模デモのため、エルサレムのバス停や鉄道駅で交通が混乱している。チャンネル14は、約20万人が徴兵制に反対するためにエルサレムに集まったと報道した。

*国際赤十字委員会（ICRC）：ICRC報道官はアル・ジャジーラに対し、イスラエルは「パレスチナ人囚人への面会を許可すべき」で、人道支援を「政治化したり、政治的駆け引きに利用すべきではない」と述べた。

10月30日 2:35pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・アクサ病院の医師は、状況は「絶望的」で、最近の攻撃で多数の子どもたちが死傷していることから判断して、イスラエル軍が民間人を標的にしているのは、「疑問の余地がない」と言った。

10月30日 2:30pm

*パレスチナ・クロニクル：レバノンの大統領は国軍司令官に対し、国土と国民を守るため、「レバノン南部へのイスラエルの侵攻に立ち向かえ」と強く命令した。

10月30日 2:25pm

訳注3：「イスラム過激派」に反対として資金をばらまいてムスリム同胞団などを弾圧させているが、ISISと繋がりがある武装集団を支援して過激イデオロギーを助長し、シオニスト・イスラエルや米帝国主義ともつながって、中東地域における野望を実現しようとしている。

*イスラエル軍：軍は、ケレム・アブ・サレムで警報が鳴ったのは誤報によるものと発表した。

*ヒズボラ声明：イスラエルのブリダ攻撃は、シオニストのレバノン侵略は「米国の許可のもと、米国との連携」で行われていることを裏付けるものだ。

*アクシオス：米英府高官はアクシオスに対し、米政府は「戦争再開を防ぐために尽力している」、そのため支配力と影響力が弱くなったイスラエル指導部は「緊張し、懐疑的になっている」と述べた。

*レバノン大統領府：イスラエル軍が国境を越えて、ブリダの町でレバノン政府職員を殺害したことを受け、ジョセフ・アウン大統領は、レバノン南部へのイスラエルの侵入に立ち向かうように国軍に指示した。

10月30日 12:42 pm

*イスラエルのハーン・ユーニス攻撃：イスラエル軍はハーン・ユーニス東の町アバサンで電力会社のビルを破壊した。また、ハーン・ユーニス市内の住宅の破壊作戦を行った。

10月30日 12:34 pm

*レバノン・メディア：レバノンのジョセフ・アウン大統領は、今日、南部へのイスラエル軍の侵攻に対応するように軍司令官に指示した。これは、今日、イスラエル軍が国境を越えて侵入、ブリダの町で1人の従業員を殺害した事件があったために出された命令。

10月30日 12:31 pm

*ヒズボラ声明：ヒズボラは、最近のイスラエルのレバノン攻撃は「米国の協力と共謀」によって行われていると主張している。ヒズボラは、米国がレバノンにレバノン国益にならない政策を強要する目的で、「イスラエルに攻撃にゴーサインを出した」と非難する。ヒズボラは、レバノン大統領が国軍に対しイスラエルの攻撃に対応せよと命じたのを称賛した。ヒズボラは、レバノン軍の防衛力を高め、「野蛮な敵」に対峙するために必要な政治的後押しを与えるために、可能な限りあるゆる資源を軍に提供することを、政府に求めた。ヒズボラは、政府に、これまでの11カ月間とは異なる姿勢をとり、イスラエルの攻撃を阻止する計画を承認することを求めた。

10月30日 10:57 am

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍機が南レバノンのジャルマクの町周辺の山岳地帯とアル・マフムーディヤ地区を空爆したと報じた。

*レバノン保健省：イスラエル軍が南レバノンの町ブリダに侵攻し、イスラエル兵がレバノン民間人を射殺した。

*アル・ジャジーラ：今日早朝、イスラエル占領軍は、ハーン・ユーニス東部を10回連続で空爆した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍がガザ市東部とハーン・ユーニスで大規模な破壊活動を行ったと報じた。

*パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル軍装甲車両がハーン・ユーニス南部のマアン、シェイフ・ナセル、ジュラット・アル・ルート地区を砲撃した。

*アナドル通信：モロッコの公正開発党のアブデリラ・ベンキラーン書記長は、モロッコ人民にパレスチナ人民支援のデモを継続することを呼びかけた。

*ドイツ通信社：イスラエル軍は、停戦協定の履行を再開すると発表したにもかかわらず、ガザを空爆してパレスチナ人2人を殺害した。

*パレスチナ・メディア：地元筋によると、ハーン・ユーニス北東部でイスラエル車両が銃撃を行った。

*ガザ医療救援協会：ガザ医療救援協会の代表は、治療を受けられない糖尿病患者が35万人おり、腎臓病患者の40%が死亡したと述べた。

*国境なき医師団：国境なき医師団の事業コーディネーターのキャロライン・ウィルマンは、イスラエルは人道支援を戦争武器として利用し続けていると述べ、ガザでは水とシェルターの不足が深刻だと言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ市東部で住宅破壊活動を行っている。

*AFP通信：フランスのジャン・ノエル・バロ外相は、米国主導の戦後ガザ復興計画の調整センターに参加するため、民間人と兵士から成るチームを派遣すると発表した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はハーン・ユーニス東部を10回以上空爆した。

10月29日 10:45 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日イスラエル機はガザ回廊北部を爆撃し、2人のパレスチナ人を殺害するという停戦違反を行った。これで、停戦になってからの死者数は211人となった。

10月29日 10:56 pm

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラの特派員によると、イスラエル軍がガザ地区中部のマガジ難民キャンプ東部地域を砲撃した。

*国連：アントニオ・グテーレス国連事務総長は、イスラエルのガザ空爆再開が停戦を損ない、民間人の生命を危険にさらしていると、イスラエルを非難した。

*ニューヨークタイムズ：イスラエル高官たちはニューヨークタイムズに対し、ヒズボラは軍事力再構築を行っており、これは停戦違反になると言った。これを阻止するためにイスラエルはレバノン攻撃を行っているのであって、停戦違反しているのではないと言った。

*国連高等人権弁務官：国連高等人権弁務官は、昨日のイスラエルのガザ攻撃で100人以上のパレスチナ人を殺害したことを「恐ろしい」と言った。弁務官は、空爆の標的は主に民間人住宅、避難民テント、学校だと指摘し、イスラエルに国際法遵守を求め、当事者両者に誠意をもって停戦維持するように要請した。

*アル・ジャジーラ：入植者は、イスラエル占領軍に守られて、西岸地区のオリーブ畑へ収穫に行く農民を妨害した。

*チャンネル12：イスラエル軍はハーン・ユーニスで軍事行動を行っている。

10月29日 1:27 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ政府メディア・オフィスは、ジャーナリストのモハンメド・アル・ムニラウィがイスラエルの攻撃で死亡したことを発表、これにより、戦争開始以降イスラエル軍によって殺害されたジャーナリストの数は256人となった。

10月29日 8:22 am

*パレスチナ・クロニクル：戦争を終わらせ、人道支援物資のガザ搬入を可能にする停戦合意にもかかわらず、イスラエル軍の空爆で子ども24人を含む少なくとも63人のパレスチナ人が死亡した。